

- 6) 多胎入院数
83名（21.6%）。
- 7) 外科症例数（手術例のみ）
小児外科15例、小児脳神経外科 4 例、小児耳鼻咽喉科 2 名。
- 8) 他院への搬送
13例。全例状態安定後に搬送元等の病院に転院。

4. 2022年の目標・事業計画等

総合周産期母子医療センターとして、産科部門との連携を一層充実させ、より重症な症例にも対応できる体制を整える。また県内の総合周産期センターである獨協医大、および関連の地域周産期センターと協力・連携しながら、栃木県、北関東地域の周産期医療の充実を図る。さらに周産期・新生児医学会認定施設として、専門医の育成に力を注ぐ。